

GP 3 Individuals and Societies –History(Standard)

第 1 期	1890 年代以降における英の対独包圍網形成の過程とバルカンの民族運動
第 2 期	第一次世界大戦とヴェルサイユ体制
第 3 期	世界恐慌とファシズム体制の出現
第 4 期	第二次世界大戦と冷戦期の世界
第 5 期	冷戦期の世界諸地域の変化
第 6 期	歴史研究と論文作成

概要と評価

第 1 期：学習および試験のスタイルを知る

イギリスを中心とするグローバルな資本主義世界の成立と、その弱体化が第一次世界大戦の原因になったことが主題になる。

D P 歴史の学習方法と評価スタイルを知るため、演習問題解析・資料分析・ビデオ視聴などを通じて、調査・研究・討論を行う。また、学習した範囲内で、各自がテーマを選択し、研究結果を発表する。

この期の評価は、演習問題への取り組みと、研究活動で得た知識・考察力を適切に組み立てて、解りやすく発表できるかが主要なポイントになる。

第 2 期：批判的思考力を確立する

第 1 次世界大戦と戦間期の「ヴェルサイユ体制」が、どんな変化を以後の世界にもたらし、なぜ第 2 次世界大戦発生の原因となったかが主題となる。これについて調査・研究・討論し、研究発表を行う。

この期の評価は、演習問題への取り組みと研究発表の中で、戦間期の変化を批判的に分析し、その問題点を客観的視点で説明できるかが主要なポイントになる。

第 3 期：グローバルな相互作用を理解する

世界恐慌とファシズム体制について調査・研究・討論を行い、研究発表を行う。

この期は、ソ連成立と世界恐慌発生が、

世界全体に大きな影響を与え、その結果、再び世界大戦という破滅的破綻が生じたことが主題となる。これをグローバルな視点で分析し、説明することができるかが評価の主要なポイントになる。

第 4 期：メディアリテラシーを修得する

各自がテーマを設定して、第 2 次世界大戦と冷戦期の研究を深めるアプローチを行う。多くのメディアがこの時期の記録を残しているため、これから必要な情報を選択し、他の資料と比較して分析・考察する。

ここでは、研究発表の方法に重点が置かれ、メディアリテラシーの能力と、発表で発揮されるコミュニケーション能力が評価の主要なポイントになる。

第 5 期：情報リテラシーを修得する

この期は、研究を深めることに重点が置かれる。多くの情報を分析して、その信憑性を確認し、どのような立場から発信されたものか、発信した動機は何かを考察し、これを研究発表で、わかりやすく説明できるかが評価の主要なポイントになる。

第 6 期：創造的思考力を確立する

研究活動と論文作成などの過程を通じて、歴史の中に新たな法則性を見出す創造的思考力を確立できるかが、評価の主要なポイントになる。